消費者スマイル基金　第10回助成事業

特定適格消費者団体の行う被害回復関係業務に対する助成

申請書

２０２２年◯◯月◯◯日

特定非営利活動法人　消費者スマイル基金

理事長　阿南　久　宛

〒

住所

団体名　　　　　　　　　　　　　　　㊞

代表者名

連絡先

担当者名

　2021年12月11日～2022年5月26日の間に下記のいずれかの業務を実施しましたので、指定の資料を添付し、被害回復関係業務の費用の一部に充当する趣旨で助成を申請します。

**１.実施した業務（活動実績）**

　※下表のいずれか一つを選択してチェック欄に☑を記入

　※チェックした業務について、記入欄に記入し、添付資料を同封

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| チェック欄 | 業務の内容 | 記入欄及び添付資料 |
|  | 共通義務確認訴訟 | 記入欄　事件番号 |
| □ | 第一審 | 下記の添付資料1及び添付資料２を提出  **添付資料1**  　訴状、控訴理由書（検討中の場合は控訴状）、若しくは上告及び上告受理申立理由書（検討中の場合は上告及び上告受理申立書）の写し  **添付資料2**  　消費者契約法第30条及び同法施行規則第21条第2項第2号関係「被害回復裁判手続の概要及び結果の記録」様式に、2022年5月26日までの状況を記載したもの |
| □ | 控訴審 |
| □ | 上告審 |
| □ | 裁判外の被害回復の実現 | 記入欄　相手方事業者名 |
| 下記の添付資料1若しくは添付資料2を提出  **添付資料1**  自団体ウェブサイトで公表している場合はその写し。  **添付資料2**  　未公表の場合は、被害回復関係業務に関する事業者等との交渉経過の記録（事案別）様式例（法第30条及び施行規則第21条第2項第1号関係）「被害回復関係業務に関する事業者等との交渉経過の記録」  　　※当該事案に係る団体からの申入れ（要請）書及び相手方からの回答書の各写しでの代替も可。 |

**２.被害回復関係業務を今後も実施することを証する書類**

　本件助成申請日を含む年度の事業計画書を添付します。

（被害回復関係業務を明示したもの、様式は自由）

**３. 活動実績を一般消費者に判り易くPRする資料**

実施した業務に対応する下記いずれかの資料を添付します。

（1）共通義務確認訴訟の提起の場合

本件の被害実態、相手方に請求した事項及び請求の理由等を一般消費者向けにPRする資料（Ａ4　１頁を目途）

（2）裁判外の被害回復の実現の場合

（非公表事案の場合は、非公表のため添付しない旨明記）

本件の被害実態、相手方に請求した事項及び請求の理由並びに相手方の対応及び被害回復の実績等を一般消費者向けにPRする資料（Ａ4　１頁を目途）

※助成の審査に活用するとともに、助成が決定した場合は、消費者スマイル基金のウェブサイトで、「このような活動に支援しています」という趣旨で公表する場合があります。（非公表事案については、原則公表しません。）